

令和2年度の市民参画手法について（状況報告）

(1) 子ども・若者アンケートについての主な委員意見と対応

	意見		対応
①	<p>■ アンケートという手法では不十分。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS など若者が使うツールを活用するなどして、直接意見を聞くべき。 ・ 現代の意見収集手法として貧弱。 ・ アンケートで聞ける内容は既存調査で把握している。 	⇒	アンケートではなく、直接意見を聞く手法を検討する。
②	<p>■ 選択式の設問だけでは不十分。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な設問を設定できるほど、まだ議論が煮詰まっていない。 ・ 自由記載欄があった方がよい。（周囲を気にせず回答できる環境で。） 	⇒	アンケートではなく、幅広く意見を聞く手法を検討する。
③	<p>■ より多く、幅広く、子どもに意見を聞くべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一部ではなく全小中学校を対象に。 ・ 学年は小5、中2に限定しない。 ・ 学校に通えていない子どもの意見。 ・ 一定期間継続的に意見を言える環境。 	⇒	①②を踏まえた上で、可能な限り幅広い対象者に意見を聞く手法を検討する。
④	<p>■ 無作為抽出による案内は、興味を持って参加してくれる若者を見つける手法として活用できる。</p>	⇒	若者への無作為抽出による案内は実施する。

(2) 実施方針（※調整中のため状況に応じて変更）

① 子ども対象の市民参画

- ・ アンケート手法を見直し、協力してくれる子どもへのヒアリングに変更する方向で調整中
- ・ 子ども関連施設を通じて、施設ごとに実施する想定

② 若者対象の市民参画

- ・ アンケートは中止し、オンラインワークショップに変更
- ・ 合同会社 MichiLab（多摩市若者会議）の協力のもと実施する方向で調整中
- ・ 参加者募集は、無作為抽出による郵送および公募で実施
- ・ 想定スケジュール
 - ・ 10/14 : 第2回検討委員会にて、方針の承諾
 - ・ 11月初旬～12月初旬 : 参加者募集
 - ・ 12月中旬～下旬 : 開催